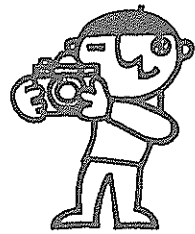


日本損保協会から 南国市へ最新型消防車

七月三十一日、社団法人日本損害保険協会（後藤康男会長）より南国市に消防自動車（寄贈されました。寄贈されたのは毎分二千八百リットル以上の放水ができる最新型の水槽付消防ポンプ自動車。同協会は昭和二十七年から

消防車などの寄贈を続けており、今回の消防車は県内で二十六台目、南国市では三百目となります。

「火災保険南国3号」と名付けられた新消防車はさっそく放水訓練を行った後、北部出張所に配備されました。

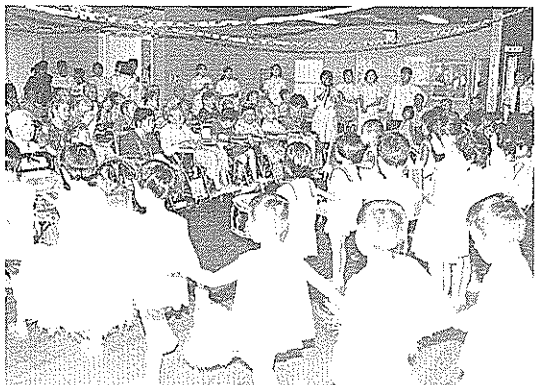


カメラ
レポート

白銀荘で納涼祭

八月二日、特別養護老人ホーム「白銀荘」で、開所一周年を記念しての納涼祭、ふれあい祭が行われました。お祝いに近くの吾岡保育園の園児約三十人が訪れ、入所者やデイ・サービス利用者を前に合奏と鳴子踊りなどを披露。

地域との交流を図るため催されたもので、ボランティアや市の職員、警察職員なども参加しての出店や、カラオケ大会などが行われました。



納涼夏祭り

日吉神社と土曜夜市

毎年恒例の後免町商店街の土曜夜市が八月三日、十日、十七日に開かれました。ウナギのつかみ取りや、まほろば祭りで行う予定だったじゃんけん大会などたくさんイベントが催され、子供たちの人気を集めていました。

また、八月三日には日吉神社で夏祭りも行われ、カラオケ大会でたくさんの市民が自慢のものを披露していました。



小さな文化使節

今年も岩沼市から中学生四名が、夏休みを利用して南国ライオンズクラブ（安岡嗣生会長）の会賓宅へホームステイ。

八月九日から十四日までの六日間、よさこい祭りや龍河洞見物など南国の生活や風物を体験しました。

ライオンズクラブによる青少年交流も十年目を迎え、来年は岩沼を訪問する予定。



戸外でリハビリ

南国市では七月二十四日に戸外リハビリ教室を開催。

この日参加したのは、普段、市のリハビリ教室に参加している方のうち五十八歳から九十一歳までの十一人とその家族。西島園芸団地や歴史民俗資料館を回って楽しいひとときを過ごしました。



南国早場米キャンペーン

フレッシュ!!

土佐の新米キャンペーンが八月十日に東京代々木公園で行われました。

これは、高知の米をもっと多くの消費者に知ってもらい、米の消費拡大を図ろうと、市農業委員会（苅谷哲夫会長）が中心となって実施している高知県産早場米の宣伝活動で、今年で三回目。

かりのナツヒカリ、三百グラム入り四百袋を配布。アンケートやパンフレットなども同封し、消費者の反応を見ることにしています。

今回のキャンペーンは農業委員会や市内の農協、県から八人が参加。通行人たちは「もう、お米がとれたの!」とびびくりした様子でうれしそうに受け取っていました。

